

日本科学者会議福井支部 &
福井県 AALA(アジア・アフリカ・ラテンアメリカ)

共催 公開市民講演会

放射性廃棄物問題の現状と展望

~~ まず「読む」こと、それが議論の第一歩です

11月18日(土)

14:00 ~ アオッサ 6F

参加
無料

607 研修室：福井県福井市手寄
1丁目4-1 ☎0776-20-6101

講師：小野一 工学院大学教授

zoom で参加の方は ~ ●ミーティング ID: 814 7015 8653
●パスコード : 836460

プロフィール

小野一 (おの はじめ) 工学院大学教育推進機構教授、現代ドイツ政治学専攻、日本科学者会議福井支部幹事

【著書】

- 『地方自治と脱原発／若狭湾の地域経済をめぐって』(社会評論社 2016)
- 『現代ドイツ政党政治の変容／社会民主党、緑の党、左翼党の挑戦』(吉田書店 2012)
- 『ドイツにおける「赤と緑」の実験』(御茶の水書房 2009) ※他に共著、分担執筆、雑誌論文等多数

若狭湾に数多くの原発を抱える福井県にとって、使用済み核燃料の搬出先は、他人事ではありません。

混迷の時代に、ともすれば憶測や感情が前面に出た議論が先行しがちですが、このような時だからこそ、基本を再確認した上で今後を展望する議論が求められます。まず「読む」ことから始めましょう。それが議論の第一歩です。

本講演では、日本学術会議フォローアップ検討委員会が2015年に出した報告書「高レベル放射性廃棄物の処分に関する政策提言／国民的合意形成に向けた暫定保管」を読み、その意義と限界性を明らかにしていきます。

また、せっかくですから、海外の事情も紹介できればと思います。ドイツは脱原発を実現しましたが、関連で日本で評価の高いのが「倫理委員会」報告書です。翻訳も出ていますから、その内容を批判的に読んでみるのも有益だと思います。

◆日本科学者会議福井支部 連絡先：山本雅彦、masahiko@mbp.nifty.com (携帯 090-4323-4199)

◆福井県 AALA(アジア・アフリカ・ラテンアメリカ) 代表者：山本富士夫 (同 理事長) yamamo96@yahoo.co.jp
連絡先：金森洋司 (同 事務局長) yk39@ur.ttn.ne.jp (携帯 090-8092-2277)

カンパのお願い：郵便振込口座番号 00710-9-17967 日本科学者会議福井支部 支部 HP：<https://jsafukui.net/>

(2023 年 10 月発行)